

日刊 印刷 發行 編輯 人 川崎 文治 本社 同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤 每日新聞社

東京每日新聞

定部金貳錢 廣告五號十二行 印刷日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五番 發行所 常盤 每日新聞社 電話六三〇番

刊夕日三十月二十

第三回謝恩大興行

松竹キネマ社特々作品
原監督 志波 秀果
阪東妻三郎 森 靜子
尊王
時幕末の頃京洛中夜は更けて東山三十六峯靜かに眠る 忽ち深き静寂、破る劍戟の音……

大日活超特作品
原作村上浪六 監督辻吉郎
河部五郎 櫻木梅子 尾上多見太郎

元祿 妙法院勘八
遺開 快舉義士 處刑 情義を楯に仁侠の刃を振ひて大地を踏む俠

大日活超々特作大映畫
原作西池春之介 監督清瀬英次郎
半九郎 捕物帳の内 劍
闇の目黒に閃光一及……辻斬だッ……辻斬だッ……御用御用だ……

十二月末日迄
十三日ヨリ替リ

通席 金十錢 平館

小商店員募集

年齢十四五才位の者
貳名至急雇入たし
御希望の向は御來談下さい

平町一丁目
和久井屋
電話四〇五番

平町紺屋町(縣社通り)
美味 評判 **イノ半食堂**
オの部電話四六〇番

三益玉炭のお奨め

三井物産會社が多年研究の結果專賣特許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス
◎無煙無臭で火付が早く、火持ち良く、火力が強く日常のニヤキにはコンナ便な品はありません
◎それで値段は大變お安く木炭の三分の一で充分間に合ひます
◎ドンナニ喰はずらいの人でも一度使へば必ず御氣ニ召すのが此の玉炭の特長です
値段ハ壹箱金二圓、個數ハ約八百個内外
お申越次第見本を持参してご覧に供しますからお申越下さい

平 驛 前 (電話二二七番)
阿部石炭商店

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番

御大禮記念セイコー抽籤特賣

賞品總額拾壹萬參千圓 (價券)

| | | |
|----|-----|-----|
| 一等 | 壹百圓 | 五十本 |
| 二等 | 五十圓 | 二百本 |
| 三等 | 十圓 | 五百本 |
| 四等 | 五圓 | 五百本 |
| 五等 | 二圓 | 五百本 |

國民の擧つて奉祝する御大禮につきまして。此の曠古の御盛儀を記念するたため、國産セイコー腕時計の抽籤特賣を發表致します。永く保存が出来御使用に便利な絶好の記念品として御薦め致します。

特約店 **大谷時計病院**
平町三丁目(電話一九番)

藤沼醫院

入院應需
平町紺屋町
電話平五〇七番

内科、小兒科、花柳病科

骨關節外科 專問 藤本 順
整形外科
婦人科 院長 木村寅次郎
平町新川町
木村醫院
電話一六四番

盛美酒 眺月
平四丁目平驛通
電話二一〇七番

七五三御祝の御用意品

毛糸マント
ラシャオーバー
洋服各種
モヘヤマント
帽
白毛襟巻
チヨツキ

種々入荷致しましたから御用意を……

ヒツルヤ
電話百四十番

吉田眼科醫院

平町紺屋町
電話三三六番

御用はラチオ部へ御用意を
▼三球式(附屬品一切付)
A 金百十圓也
B 金八十五圓也
C 金七十圓也
▼一球式(レシパー付)
A 蓄電池 金卅三圓也
B 乾電池 取付工事其他
ラチオ製作、部分品、

仙台放送局指定加入申込取扱所
高野自轉車店ラチオ部
平驛前(電話三三六番)

共濟病院

平町(電話六四一番)

御大典記念事業トシテ
一、衛生試驗所 (共濟病院内) 十一月一日ヨリ開始
一、病氣相談所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始
一、救療所 (共濟病院内) 十二月一日ヨリ開始

獨逸シームス、ユニバーサル、ヘリオドル
× **光線新設**
主任 醫學博士 難波 睦

內科 小兒科 (院長毎日診療)
院長 醫學博士 難波 睦
副院長 醫學士 五十嵐 雄二
內科部長 醫學士 伊吹 彪二
外科 整形外科 レントゲン科專門
外科部長 醫學士 氏家 憲介
產婦人科 女子泌尿科 レントゲン科
產婦人科部長 五十嵐 雄二
醫學士 川添 正道
顧問 醫學博士 賀 澤 忠治
本院醫事 法學士 岡 治 蕃
本院 主事 賀 澤 忠治 蕃
本院 主事 賀 澤 忠治 蕃 (電話七二番)

地方問題に關する

鈴木縣議堂々の論陣

昨日の縣會に持ち出されたる諸問題に就て内務部長の答辯

昨十二日午前十一時五十分から開かれた十日目の本縣會に於て石城郡選出の鈴木辰三郎氏は「土木課の疑獄問題、農村振興と道路政策、河川改修、並に縣費の均衡と小名濱築港論及し縣は石城には小名濱商港の工事があるからとして他の河川港灣、道路工事が閉却されてゐるのは不當である、石城郡の縣稅負擔額は平均三郡分に達してゐる状況である縣は果して石城郡を閉却するや小名濱商港實現を見んとする今日同港の飲料水となるべき鮫川疏水の完成を急ぐ事、同一路線に自動車營業者は三人以上許可せぬか」と質し伊藤内務部長登壇「土木課疑獄事件につ

昨年同期に比して 滞納稅額が減少

好轉の域に入つたと見らる、石城地方の金融界

| | |
|-------------------------------------|-----------|
| 近來における不況の現れとして試みに平稅務署管内現在の國稅滯納額を見るに | 納額は |
| 所得稅 | 八七九 一一 |
| 地租 | 八五二 一六七 |
| 收益稅 | 一六〇 四 |
| 相續稅 | 一六〇 四 |
| 營業稅 | 一〇三 四 |
| 計 | 一四、九三 二一四 |

増加してゐる等と思はるるに拘らず前年同期の滯納額は

| | |
|-----|-----------|
| 所得稅 | 八七九 一一 |
| 地租 | 八五二 一六七 |
| 收益稅 | 一六〇 四 |
| 相續稅 | 一六〇 四 |
| 營業稅 | 一〇三 四 |
| 計 | 三三、三六 二九一 |

で本年分は僅にその二分の一にも達せざる有様で一見

平町に

自動車學校設置計畫

吉田直之助氏が計劃 十二日縣に認可申請

平署管内に於ける自動車の激増は近時全く素晴らしく其數も二百五十一臺を突破し本縣下唯一と稱せられてゐる是が自動車を運轉するもの或は運轉手たらんことを希望するものはことごとく東京方面に於て技術の修養を するため非常に不便を感じ又技術方面に亘つても相當遺憾とされる點が少くないので平町附近の自動車營業者は技術者

極めて奇異の現象といはねばならぬが是れによつてこれを觀るに石城地方の經濟界は近來幾分上向きになりつゝあり乍らその程度が極めて微弱なために一般から感知されぬではないかと想

縣立水産校設置建議

石城選出六縣議から 双相兩郡縣議の賛成で

本縣では時代の趨勢に鑑み實業振興に腐心してをり殊に農工業方面は相當進歩發達してゐるが獨り水産業のみは遅々として發達せず何等見るべきものないが本縣沿岸四十里の沖合には世界三大漁場と言はる、豊富なる漁場を有するに斯く不振なるは教育機關のないためで實に遺憾事とされてゐるから縣下適切な地へ縣立水産學校を設置して貰ひたいと目下開會中である縣會へ石城選出の鈴木(辰)古川、山崎、鷺、野崎、若松の六縣議が提出となり双葉相馬兩郡選出縣議の賛成を得て近く建議案を提出する等である



鮮のステーキ

鱈をぶつ切に致します臟腑を頭のところから鍵で引き出して中をよく洗つて、骨ごと丸のまま切るので、之に鹽胡椒して人参と玉葱とを薄く切つて交せ上からカラダオイルをかけて約三十分間漬けて置き後魚の両面にウドン粉をつけてバターを溶かし魚の切身を入れて蓋をして焼き半面が焼

は、節がある處へ最近休業銀行の合併益あけもあり今年末の金廻りは或は昨年未より活潑なるものがあるかも知れぬと觀測する向もある

漸く還元

平銀合併を喜ぶ 山田七七支配人

平銀行の誕生策たる合併が案外早く成立し一般預金者は勿論各方面ともに非常な好感を以つて迎へてゐるが右合併成立につき七七平支店山田支配人は語る「平銀の合併成立は石城地方の金融界にとつて誠に喜ばしい

次第である、警城の休業以來中央に吸収された資金はおそらく三百萬圓を下らず従つて地方財界は極度に不安を感じてゐたが平銀の合併成立と同時に中央に吸収されてゐた地方の資金は還元して再び圓滑なる經濟取引が行はれるであらうからこの際徒らに銀行を危険視せず銀行を利用するやう衷心から諸氏にお勵めすると共に合併成立を喜ぶものである」云々

賞與の最高

三十一割半 營林署員の笑顔

この程發表された平營林署員の賞與額は最高月俸の三十一割半といふ素晴らしいもので最低といへども二十

募集

文藝其他投稿を募集します

き出して中をよく洗つて、骨ごと丸のまま切るので、之に鹽胡椒して人参と玉葱とを薄く切つて交せ上からカラダオイルをかけて約三十分間漬けて置き後魚の両面にウドン粉をつけてバターを溶かし魚の切身を入れて蓋をして焼き半面が焼

珍無類の

異名が振つてゐるといふのは約五年前現在の家を使用古物商を營んでゐたが生活状態は益々窮乏を來すのみで今は全く賣拂ふべき何等の品物もなくなつた時同町の小野塚某が水廻りの古物が欲しいと申出たので得たり賢じと便所の糞を掘起し裏の川で洗

解散手當

平銀行を合併する事になつた常盤銀行では昨記の如き條件により廿六日の株主臨時總會で合併契約をする事になつたが平銀行員解散手當として一萬五千圓を交付する等である

喜 臭いお茶

古物商檢舉

植田町石町居住古物商佐藤龜之助事俗に(糞龜)か切斷した銚子の銚紐を織いで使用してゐたのをこの程發見さ

素知らぬ

顔で三圓五十錢に賣却したことを知らぬ小野塚某は茶を飲まんとして折餘りに糞尿の臭氣に堪わかね調べてみるとこの始末が判明、一時町内の大評判ととなつた